

留学を通して自分に自信を持ち、失敗を恐れず挑戦する力を得ることができた

S. K.

明治学院大学 国際学部 国際学科 進学
水戸市立 吉田小学校 卒業

私は幼い頃から英語や海外について関心があったため、茨中のときから国際教養コースに入りたいと考えていました。このコースは、普通の高校ではできない大変貴重な半年間の留学経験ができます。また、留学前に語学力を向上させる Practical English やアメリカの大学の先生とオンライン授業で議題を決めてディスカッションをする Academic Skills というカリキュラムが組まれています。これらの授業で英語を中心としたプレゼンテーションやスピーチの技術を磨くことができました。また、留学を通して、自分の意見に自信を持ち、失敗を恐れず挑戦する力を得ることができました。そして、異文化理解だけではなく、多様な考え方を受け入れる力を身につける重要なきっかけとなりました。また私は、国際的な問題に主体的に取り組み、解決策を模索することが大事だと考えるようになり、自ら案を企画し実行する活動である「協働探究」という授業に積極的に取り組みました。その授業の中で、私はフードバンク活動をしていました。フードバンク活動では、主に家庭で余った食材を寄付するフードドライブを校内で行いました。そして、より多くの人にフードロス問題について認識してもらえるよう、高3時の文化祭ではフードロス削減をテーマにし、破棄の対象となる規格外野菜を使った無水カレーを販売するプロジェクトを企画し実行しました。この企画は、規格外野菜の使用を協力してくださる農家の方々や、その野菜を加工しカレーを作ってくださる飲食店の方々との交渉が必要でした。慣れない電話やメールでのやり取りは、とても大変でしたが、留学の経験を活かして積極的に行動することができました。

私は、中学から6年間弓道部に所属していました。挨拶から始まり挨拶で終わるという武道の精神を学び、礼儀や他者への敬意を身につけてきました。弓道は、他者との戦いではなく、己との戦いであり、自分を見つめ直すことができる武道です。なかなか的に当たらず、スランプに陥ってしまうこともありましたが、弓道で培われた忍耐力を発揮し、乗り越えることができました。また留学先では、弓道を通して日本文化を発信することができました。

茨中・茨高の良いところは、先生方が真摯に生徒に対して向き合ってくれることです。私は、受験期に志望理由書を書く際、自分の進路がはっきりと見えず、思い悩んでいた時期がありました。しかし、先生方の的確なアドバイスや熱心なサポートのおかげで、自分の進路を見出すことができ、希望の大学に進学することができました。また、面接対策も定期的にしてくださり、受験期にはとても心強かったです。

私は、将来、多種多様な人々や文化と関わりを持つ国際的な機関で働くことを考えています。大学では、校外学習やボランティアなど、新しいことに進んで挑戦していきたいです。